

令和7年度 第1回豊田市文化財保護審議会

日 時 令和7年5月26日(月)
午後3時00分から
場 所 豊田市役所 南庁舎5階 51会議室

次 第

- 1 美術・博物部長 あいさつ
- 2 会長 あいさつ
- 3 令和7年度 文化財課組織体制 【資料1】
- 4 議 題
 - (1) 令和6年度文化財課事業報告 【資料2】
・文化財施設利用状況 (別紙1)
 - (2) 令和7年度文化財課事業計画 【資料3】
- 5 報 告
 - (1) 文化財保存活用地域計画の策定について 【資料4】
 - (2) 棒の手会館展示リニューアルについて 【資料5】
 - (3) 「百々貯木場」の国重要文化財(建造物)指定について 【資料6】
- 6 その他
 - ・民芸の森 旧海老名三平宅の茅葺屋根の葺き替え(民芸館が実施)

令和7年度 文化財課組織体制

資料 1

≪豊田市 美術・博物館≫

●転入、異動職員

美術・博物館 部長	● 田境 志保
美術・博物館 副部長	● 成瀬 文浩

≪文化財課≫

	電話32-6561 FAX34-0095 豊田市西町3-60	
課長 兼 室長	児玉 文彦	課全体業務【総括】
副課長	赤川 茂樹	文化財業務【総括】、審議会、各種行政計画管理、庁内調整
担当長（文化財保護・活用）	太田 吉朗	庶務・予算・決算等【総括】、保存会事務【総括】、施設管理事務【統括】、埋蔵文化財【総括】
主査（文化財保護・活用）	川辺 知子	庶務、補助金（保存維持/顕彰会）、施設管理等関連事務
主査（文化財保護・活用）	市澤 泰峰	有形・民俗文化財、補助金（修理事業）、埋蔵文化財、文化財保存活用地域計画、棒の手会館リニューアル
主査（文化財保護・活用）	安藤 由真	史跡・名勝・天然記念物、建造物、埋蔵文化財、国庫補助、文化財指定等関連事務
■足助分室	電話62-0609 FAX62-0606 豊田市足助町宮ノ後26-2 足助支所内	
室長代理	● 森 泰通	足助分室業務【総括】、伝建審議会
主任主査	● 多和田 篤嗣	足助伝建地区業務（伝建物現況調査活用検討、補助金、現状変更、学習、団体支援）、庶務等関連事務
主査	安江 美紀	旧鈴木家住宅保存整備工事・部分公開等関連事務、足助伝建地区業務（技術支援）

◆重点目標

(求める状態・成果)

【令和6年度末のミライのフツー】

- ・文化財所有者や活動団体等が抱える課題を可視化し、市民等と共働で適切な支援を行うことで、文化財が保存・継承されている。
- ・文化財を生かした学びの場、機会を提供することで、市民の文化財への関心が高くなっている。

【令和9年度末のミライのフツー】

- ・文化財保存活用地域計画により計画的に施策を実施することで、文化財の価値や魅力がより多くの市民に認知され、地域で文化財を守り、伝える機運や活動が広がっている。
- ・[目標値] 歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合 53%

(取組成果)

- ・文化財の保存・継承においては、講習会の開催や地域の方と共同で発掘作業を実施することで、担い手不足への支援や地域の文化財を守り、関わろうとする気運の醸成を図ることができた。大給城跡の講演会では定員を超える申込みがあり、改めて山城への関心の高さを確認するとともに、文化財の魅力を発信した。また、足助の町並み整備や旧鈴木家住宅の保存活用を着実に進めることができた。

◆文化財保護

(1) 文化財等保存維持・修理補助

- | | | |
|----------------|------|--|
| ・有形文化財保存修理 | 5 件 | (皆福寺絹本著色聖徳太子孝養像、足助八幡宮本殿屋根・防災施設・消防設備点検、隣松寺本堂消防設備点検) |
| ・有形民俗文化財保存修理 | 5 件 | (旧南町の山車襖絵・彫刻・幕、高橋町の山車部品保管庫・彫刻、足助新町の山車蔵、竹生町の山車芯棒、平井町の山車台輪・梶棒) |
| ・史跡名勝天然記念物保存整備 | 1 件 | (大洞のスギ伐採) |
| ・有形民俗文化財保存維持 | 15 件 | |
| ・無形民俗文化財保存維持 | 31 件 | |
| ・伝統的郷土芸能保存維持 | 16 件 | |
| ・伝統的郷土芸能保存修理 | 2 件 | (長興寺巫女舞・献馬保存会 献馬馬具、保見町芸能保存会 小締め太鼓) |
| ・郷土の先人顕彰活動 | 3 件 | (松平親氏、内藤学文、鈴木正三) |
| | 総数 | 78 件 |

【その他】

- ・「綾渡の夜念仏と盆踊」の行事開催支援、盆踊り講習会の開催（無料見学バス 254 人利用、講習会参加者 16 人等）
- ・「百々貯木場」国指定に向けた文化庁調査官との調整、具申書の提出
- ・「棒の手会館展示室リニューアル」に向けて、検討委員会（3 回）を開催し基本計画を策定
- ・「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた委員会の開催（1 回）
- ・「民俗芸能発表会」の開催（博物館イベント広場 5 団体参加）
- ・民俗芸能等記録映像制作（とよたの祭事記録「猿投祭り」）

（2）史跡・名勝・天然記念物等の保護・活用

【工事・修理等】

- ・古瀬間城跡法面土留め補修修繕
- ・鴛鴨城跡手摺り修繕
- ・曽根遺跡公園遺構修繕
- ・旧松本家長屋門屋根・雨樋排水修繕
- ・丸根城跡公園外灯修繕
- ・シラヒゲソウ自生地フェンス等修繕
- ・松平親氏坐像修繕
- ・足助城跳ね上げ戸・本丸たたき修繕
- ・足助城排水基本計画策定
- ・杉本の貞観スギ傾斜計測
- ・旧龍性院庭園の用地測量



松平親氏坐像（修繕後）

【活用】

- ・昌全寺仏像解説会を開催
- ・市場城跡の発掘調査
- ・大給城跡測量調査・講演会

【その他】

- ・二ホンカモシカ滅失個体対応 90 件（委託事業者のみでの対応 38 件）
令和 5 年度：64 件／令和 4 年度：69 件／令和 3 年度：80 件

（3）埋蔵文化財の調査・整理

【本調査】 1 件（令和 5 年度：2 件）

遺跡名	所在地	調査理由	調査面積 (㎡)	主な成果
桜城跡	元城町	緊急調査	220	近世の城跡
計			220	(令和 5 年度：880 ㎡)

【試掘・範囲確認調査】 12 件（令和 5 年度：6 件）

- ・林遺跡・貞宝遺跡・平畑遺跡等範囲確認調査（ほか）

【工事立会調査】 67 件（令和 5 年度：51 件）

【手続等】

- ・埋蔵文化財の有無照会 495 件（令和 5 年度：526 件）
- ・発掘届出（93 条・94 条）125 件（令和 5 年度：80 件）

【報告書作成】

- ・日陰田遺跡

【発掘調査報告書等刊行】

- ・『令和 5 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書』
- ・『舞木廃寺・舞木古窯』
- ・『守綱寺太鼓堂保存修理工事報告書』

【その他】

- ・縄文時代の発掘調査報告書発表会の開催
（博物館セミナールーム 講師：豊田市遺跡調査会 長田友也氏）

（４）その他

- ・市史総集編デジタル公開に向けたデータ作成
WEB サイト「豊田市文化財デジタルアーカイブ」 令和 7 年 4 月 28 日公開
- ・「100 項目で読み解くとよたの歴史」原稿作成
- ・とよたのミュージアムなぞ解きラリー
【期間】7 月 20 日（土）～9 月 23 日（月）
【参加館】美術館、博物館、民芸館、民芸の森、旧松本家長屋門、松平郷館、
棒の手会館、喜楽亭、旧鈴木家住宅、歌舞伎伝承館 計 10 館
【参加者】5 館賞：612 人、10 館賞：420 人
- ・博物館事業 アクティブ・ラーニングツアーの支援（曽根遺跡など）

◆足助伝建まちづくり事業

（１）足助伝建地区の修理・修景事業

- ・伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催（6 月、1 月）
- ・修理・修景事業実施（3 件）
- ・現状変更行為許可（35 件）
- ・現状調査結果通知とヒアリング

（２）足助の町並み活用

- ・「足助の町並」を活用した学習の実施
足助小 3 回・参加者数 50 人、
童子山小 100 人、土橋小 95 人、前山・中金小 114 人、滝脇小 5 人、則定小 9 人、
御蔵小 5 人
- ・足助町並みサポーター活動（3 回）

（３）足助伝統的建造物群保存地区防災対策

- ・防災部会開催（8 回） 防災訓練（9 月 1 日）

（４）町並み情報発信

- ・「足助伝建かわら版」発行（1 回）、伝建かわら版編集委員会の開催（1 回）
- ・紙屋鈴木家インスタグラム（フォロワー 285 人、投稿 91 回）

(5) 旧鈴木家住宅の保存整備と活用

- ・旧鈴木家住宅保存修理・防災・活用工事実施に向けた文化庁現地指導（2回）
- ・旧鈴木家住宅保存修理 第6期工事（令和4年度～6年度）
第7期工事（令和5年度～7年度）
- ・旧鈴木家住宅防災対策工事 第2期工事（令和5年度～7年度）
- ・旧鈴木家住宅活用整備工事 第3期工事（令和6年度～7年度）
- ・旧鈴木家住宅修理記録映像製作

(6) 旧鈴木家住宅部分公開運営

- ・年間入館者数 22,727 人（209 日開館）

【実施事業】

① 企画展1「足助・紙屋鈴木家 de 端午の節句」

【期間】4月19日（金）～5月12日（日） 【期間入場者】1,660 人

企画展2「紙屋鈴木家のおひなたち」

【期間】2月7日（金）～3月9日（日） 【期間入場者】8,530 人

② 紙屋スタディーズ

(ア)「久米よし子さんを囲みながら、紙屋鈴木家について語る会」

4月21日（日） 参加者 24 人

(イ)「紙屋鈴木家の歴代当主について」6月1日（土）

参加者：現地 27 人 オンライン 15 人

(ウ) 隊員募集！足助こども調査隊～江戸時代のおうちを調べる～

8月7日（水） 参加者 10 人

(エ)「紙屋鈴木家の紙商いとその広がり―天竜川水系から矢作川水系、そして城下町名古屋へ―」 9月14日（土）

参加者：現地 30 人 オンライン 12 人

(オ) 重要文化財の大商家で愉しむ茶道体験 11月1日（金） 参加者 19 人

(カ) 天然香料で自分だけの香り袋づくり 3月9日（日） 参加者 28 人

③ 工事現場エリア見学ツアー

【開催】毎月第2・4金曜日 10時30分～11時30分【参加者】15回 38 人

④ 連携事業

(ア) 中馬街道足助宿～御朱印ウォーク～ 6月16日（日）

(イ) 足助まちの体験塾 気軽にサックスにふれあおう他 8月土日 計4回

(ウ) たんころりんの夕涼み 8月3日（土）～15日（木）

(エ) PAPER CONNECT TOYOTA 2024 9月7日（土）～15日（日）

(オ) 足助の刀匠展 10月25日（金）～12月27日（金）

文化財施設利用状況

施設名称	所管課 上：管理 下：展示	活動内容	6年度 入館者数	5年度 入館者数
喜楽亭	文化財課	挙母下町の町屋建築の保存と伝承のため移築公開、貸出利用	4,846 人	4,302 人
豊田市棒の手会館	文化財課	400 年の伝統をもつ民間武術棒の手に関する資料の展示と企画展示の開催	11,729 人	10,390 人
松平郷館	文化財課	松平太郎左衛門家伝来の各種資料と松平郷に関する資料の公開展示	10,276 人	16,943 人
旧松本家長屋門	文化財課	市指定文化財である旧松本家長屋門の公開展示（土・日曜日のみ）	1,068 人	2,277 人
旧鈴木家住宅	文化財課	国指定重要文化財である旧鈴木家住宅の部分公開（金・土・日曜日のみ、11 月とおひなさん期間中は毎日）	22,727 人	21,304 人 * 8 月 4 日～
豊田市古瀬間城址公園	文化財課	古瀬間城址を公開	—	—
豊田市曾根遺跡公園	文化財課	曾根遺跡の竪穴建物などを露出展示し、移築された香九礼 1 号墳なども公開	—	—
豊田市歌舞伎伝承館	博物館	市内に伝わる歌舞伎に関連する資料及び小原郷土館より引き継いだ資料の展示、保存会による歌舞伎の公開練習等の実施	6,385 人	8,611 人
豊田市七州城址公園	博物館	七州城址隅櫓と渡邊家書院・茶席又日亭の文化的活動への貸出利用	—	—
城跡公園足助城	足助支所	足助城の高櫓・長屋・物見矢倉・厨（くりや）などの建物を復元・公開	9,578 人	12,992 人
豊田市足助中馬館	足助支所 博物館	大正元年建築の旧稲橋銀行足助支店社屋を利用し、商業・金融・交通・町並みなどの資料を展示	9,264 人	9,185 人
豊田市稲武郷土資料館	稲武支所 博物館	稲武地区の歴史・民俗資料を展示	4,188 人 * 3 月 31 日閉館	4,040 人
豊田市藤岡民俗資料館	藤岡支所 博物館	遺跡から発掘された石器類をはじめとして、藤岡地区の民俗資料や歴史資料などを保管・公開	321 人 * 3 月 31 日閉館	218 人
合 計			80,382 人	90,262 人

令和 7 年度 文化財課事業計画

◆重点目標

(求める状態・成果)

【令和 7 年度末のミライのフツー】

- ・文化財所有者や活動団体等が抱える課題を可視化し、市民等と共働で適切な支援を行うことで、文化財が保存・継承されている。
- ・文化財を生かした学びの場、機会を提供することで、市民の文化財への関心が高くなっている。

【令和 9 年度末のミライのフツー】

- ・文化財保存活用地域計画により計画的に施策を実施することで、文化財の価値や魅力がより多くの市民に認知され、地域で文化財を守り、伝える機運や活動が広がっている。
- ・[目標値] 歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合 53%

◆主な事業計画

(1) 文化財事業

①歴史や文化財等の保存・活用と価値や魅力の発信

- ・文化財保存活用地域計画の策定検討
- ・ユネスコ登録「綾渡の夜念仏と盆踊」の周知及び担い手育成支援
- ・足助城法面の整備設計
- ・開発等による緊急的な埋蔵文化財等への対応
- ・市場城跡など地域や関係団体と連携した文化財の魅力発信
- ・旧龍性院庭園用地の測量
- ・棒の手会館展示室リニューアルの実施設計

②文化財を生かした学びの場、機会の提供

- ・公共施設等での民俗芸能の発表の機会の提供
- ・「100項目で読み解くとよたの歴史」の刊行
- ・発掘調査成果の発表会の開催
- ・葭池樋門の移設公開と講座の開催

③通常業務

ア 文化財の保存維持・修理（補助事業）

- ・保存維持事業補助団体 6 8 件
(有形民俗 1 6 件・無形民俗 3 3 件・伝統的郷土芸能 1 9 件)
- ・郷土の先人顕彰事業補助団体 3 件
- ・保存修理事業 1 2 件(足助八幡宮本殿修理、西町山車の上山襖框修理、高橋町の山車襖複製、高月院マツ伐採など)

イ 指定文化財等に関する学芸業務

- ・個人所有の指定文化財等の管理や調査に関する支援
- ・所管施設（松平郷館、棒の手会館等）の展示管理

ウ 史跡・名勝・天然記念物の保護・整備等

- ・埋蔵文化財業務
埋蔵文化財照会、報告書作成（紺屋貝戸遺跡、宮ノ後遺跡等）
- ・民俗文化財（有形・無形）の保護・継承支援
- ・カモシカ対応
- ・その他建造物・登録文化財の整備、維持管理支援
- ・市民相談案件への助言や支援

エ 文化財施設の適正管理

- ・文化財施設・史跡の維持管理
個別資料館（松平郷館・旧松本家・旧郷土資料館・旧発見館）、文化財倉庫2か所
史跡公園等40か所（曽根遺跡公園・丸根城跡公園・豊田大塚古墳等）

オ 指定管理施設の適正な管理運営

- ・棒の手ふれあい広場、喜楽亭

（２）足助伝建まちづくり事業

①足助伝建地区の制度運用の促進と周知

- ・足助伝建地区の修理修景補助事業の実施
- ・スクールサポート・町並み学習事業の実施
- ・足助支所が実施する「足助の町並みを活用した地域活性化事業」との共働

②旧鈴木家住宅保存整備推進

- ・保存修理工事、防災対策工事、活用整備工事の実施
- ・旧鈴木家住宅修理工事等映像記録作成と公開
- ・全面公開を見据えた運営・活用手法の検討

③旧鈴木家住宅部分公開運営

【企画展】

- ・「足助・紙屋鈴木家 de 端午の節句」 4月18日～5月11日
- ・「足助・紙屋鈴木家のおひなさん」 2月6日～3月8日

【紙屋鈴木家スタディーズ】

【その他】

- ・工事現場エリア見学ツアーの実施
毎月第2・4金曜日 10:30～11:30 各日先着6名

文化財保存活用地域計画の策定について

1 文化財保存活用地域計画とは

- ・平成31年、文化財保護法の改正によって制度化された、市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画
- ・文化財の保存・活用に関する中長期の方向性を示すマスタープランと短期に実施する具体的な事業を記載するアクションプランを定め、「地域総がかり」で文化財を保存、活用していくための指針

2 文化財保存活用地域計画策定のねらい

(1) 目的

- ・取り組んでいく目標や取組を整理し、文化財の保存・活用に関する中・長期的な方針や具体的な事業を可視化する。
- ・策定により、計画的に取組を進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を図る。
- ・行政や文化財の所有者だけではなく、地域住民や民間団体の文化財の保存・活用に対する意識を高める。

(2) 目指す成果

- ・文化財の調査結果により地域に所在する文化財を把握するとともに、データベースを作成することによる、未指定の文化財など保護措置が図られていなかった文化財の保存・活用や地域防災計画の充実
- ・文化財を活用した観光やまちづくりなどとの連携
- ・さまざまなかたちで文化財に関わる人の増加

3 スケジュール

令和6年度 第1回豊田市文化財保存活用地域計画策定協議会の開催

(令和7年3月13日)

令和7年度 策定協議会 開催2回

市民アンケート実施、計画素案作成、パブリックコメント実施

令和8年度 策定協議会 開催1回

計画最終案作成、文化庁の認定

豊田市文化財保存活用地域計画策定協議会 委員一覧

役職	氏 名	所 属 団 体 等		専 門 分 野 等
会長	山村 亜希	京都大学	教授	史跡整備（地理学）
副会長	後藤 嘉寿美	豊田市文化財保護審議会	会長	美術工芸
	赤羽 一郎	元愛知淑徳大学		考古・史跡
	丸山 宏	名城大学	名誉教授	庭園史
	溝口 正人	愛知淑徳大学	教授	建築史
	山内 明	本城小学校校区発展会	会長	市民・市場城保存活動

展示の概要

子ども達への“視覚的”な訴求手段としてアニメーションも用いて表現し、その背景にある「猿投山」・「猿投神社」の自然・歴史・文化を伝えることで、『棒の手』が長い歴史を持つこの地域の伝統芸能であることを知ってもらう。その歴史を継承することの大切さを知り、大人の勇壮な棒の手演武を（大画面を使って）見せることで、「カッコイイ」と「継承」をつなげる展示とする。

コンセプト

見る、知る、体験する 棒の手

展示替えによる定期更新

展示する衣装や道具類も、各流派の特徴を紹介し、展示に変化を持たせる。

「警固祭り」の発祥・発展から、各流派の歴史、現在の棒の手の継承について愛知県内・豊田市の紹介を行う。ここでは祭りを演出する法螺貝や鉄砲、使用する衣装や道具類の展示を、解説パネルを交えて行い、棒の手の歴史をわかりやすく紹介する。

展示替えによる定期更新

上映する棒の手映像も、各流派に特化した内容で、それぞれの流派の特徴等、解説付きでわかりやすく紹介する企画等も実施する。

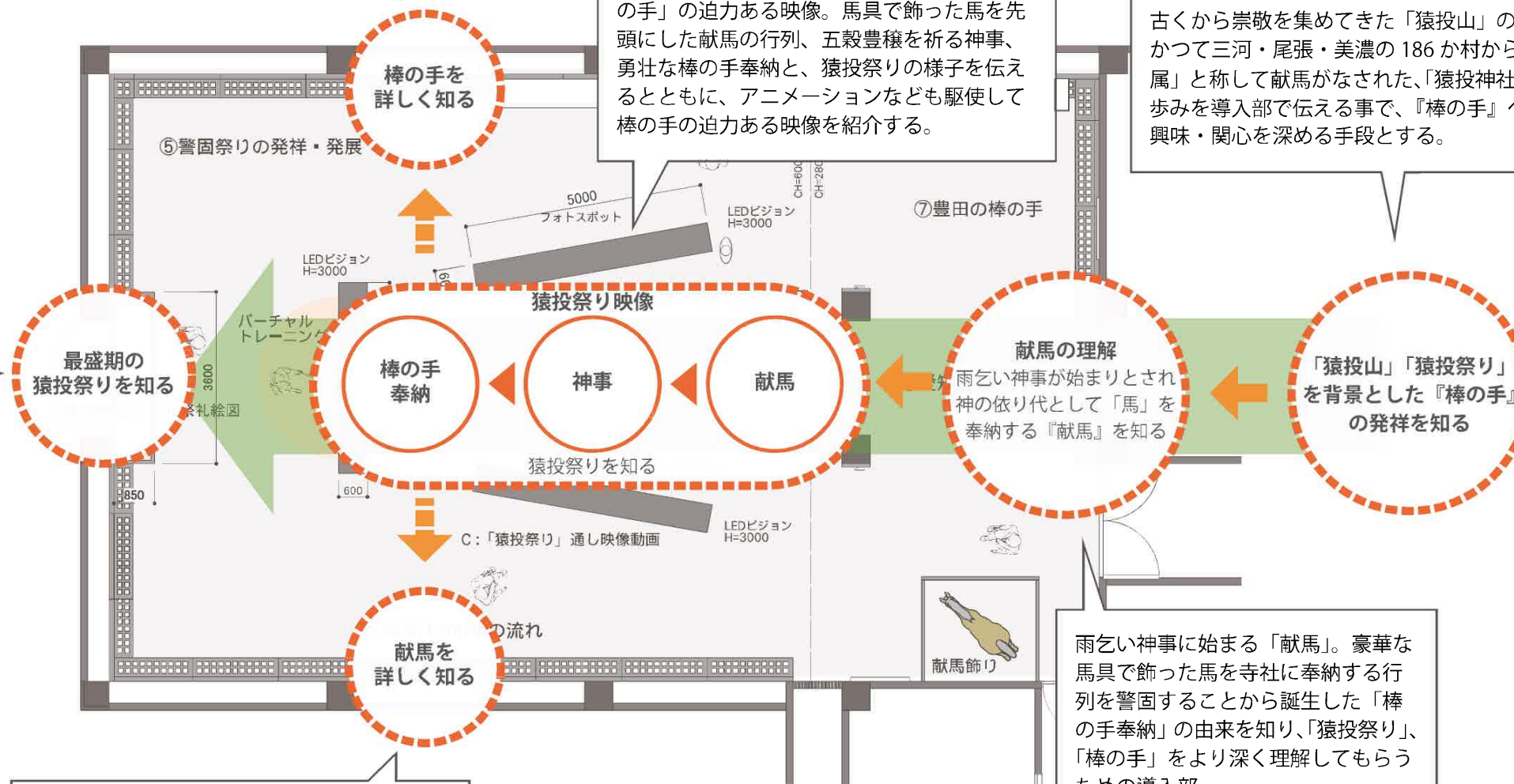
登山客への訴求

猿投山の登山客へのアピールとして、季節に応じたおすすめの登山ルート紹介や、季節毎に変化する猿投山の美しい風景の映像を流す。

展示替えによる定期更新

保存会の紹介スペースでは、各保存会が持っている写真や映像記録を、スケジュール立てで紹介する。

江戸時代中期、猿投神社の近隣三河・尾張・美濃から五穀豊穡を願って集まり、盛大に繰り広げられた猿投祭り。その盛況ぶりを伝える『猿投神社祭礼図』を基に、「デジタル絵巻」を作成。各警固隊の棒の手奉納等を、アニメーション仕立てで、興味深く描き出す。



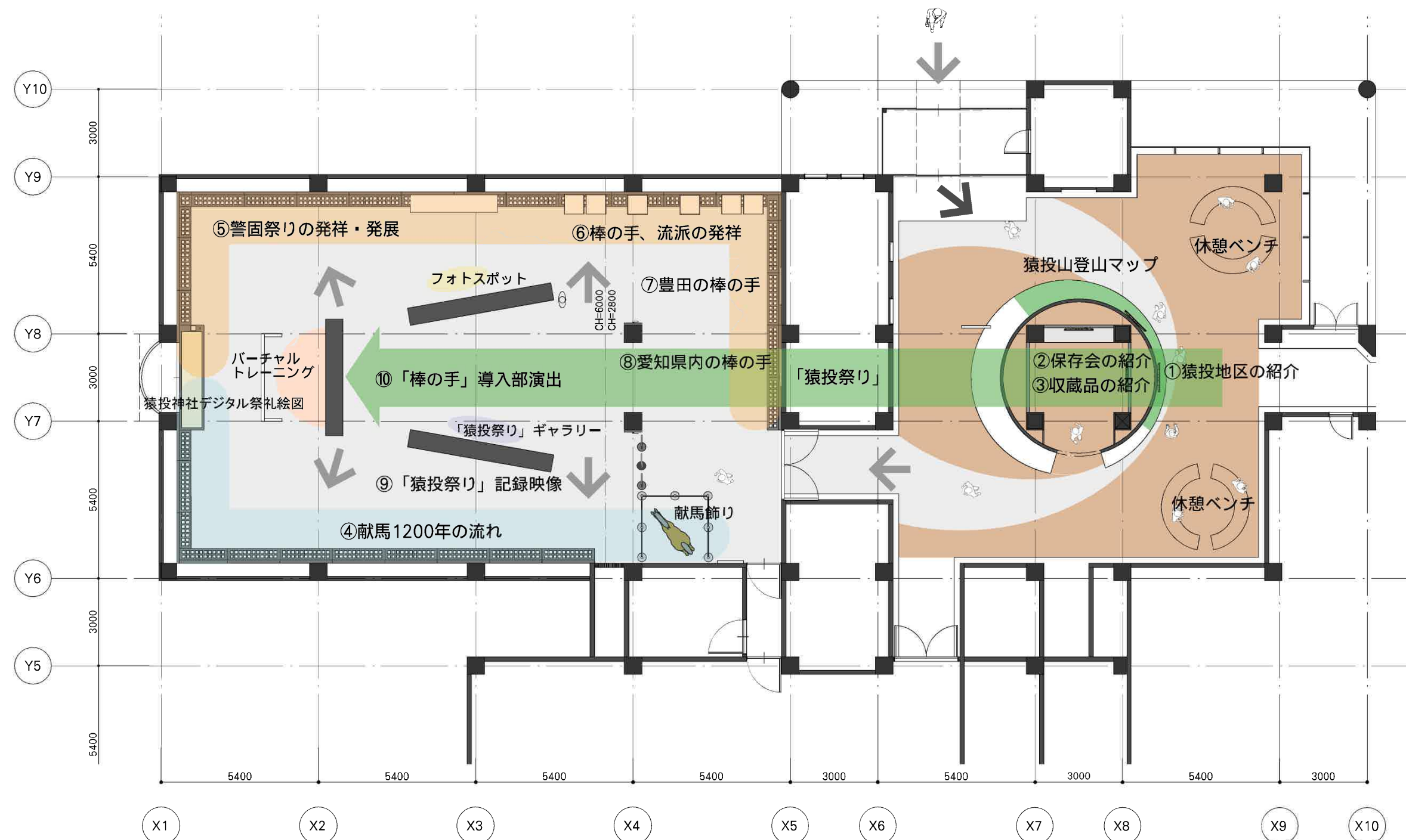
「献馬」1200年の歴史を、雨乞い神事として熱田神宮への献馬から始まったとする発祥・発展の歴史を紐解き、「おまん」と「馬の塔」などの呼び名等、献馬にまつわるさまざまな解説を通して、「献馬」と「棒の手」が交わっていったのかを紹介する。

雨乞い神事に始まる「献馬」。豪華な馬具で飾った馬を寺社に奉納する行列を警固することから誕生した「棒の手奉納」の由来を知り、「猿投祭り」、「棒の手」をより深く理解してもらうための導入部。

展示替えによる定期更新

導入部の「献馬飾り」を、内部の展示内容等に合わせ、標具や馬飾りを交換して展示に変化を持たせる。

- ・「猿投祭り」を軸に、エントランスを猿投神社の参道、展示室を境内と位置付ける。
- ・エントランスでは、プロローグとして、猿投地区を紹介。
- ・展示室は、献馬飾りの展示を筆頭に、中央の導入部演出の映像から、「猿投まつり」を軸として、「棒の手」を紹介し、興味を促し、「継承」に繋げる。



詳細設計の検討項目

- ・無人管理を前提とし、監視カメラ等の設置を検討。
- ・「猿投」の定義と表記を検討。